

# まほろば秦野通信

令和2年10月5日

タイトル	<b>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期していた 秦野市派遣型救急ワークステーション事業の運用を開始</b>
When (いつ)	10月12日(月曜日) 午前9時～ 運用開始 午後2時～ 関係者による写真撮影
Where (どこで)	秦野赤十字病院(立野台一丁目1番地)
Who (だれが)	秦野市および秦野赤十字病院
How (どのように)	秦野赤十字病院に救急車と救急隊員を週3回派遣し、重症度・緊急度の高い傷病者の要請時に、医師および看護師を救急車に同乗させることで、救命率の向上と後遺症の軽減を図ります。
Why (なぜ)	秦野市の救急体制の強化及びメディカルコントロール体制の構築を含めた病院前救護体制の充実、並びに救命処置の質の向上を図るため。
How much (予算)	・医師等の同乗に伴う賠償責任保険及び傷害保険 ・事業開始に伴う消耗品など合計34万円
過去の実績	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、運用開始予定日だった4月20日から延期していましたが、この度、運用を開始します。
問い合わせ	消防管理課 救急救命担当 担当:諸星 電話:0463(81)8020